

平成25年4月24日

東海旅客鉄道株式会社

N700系改造の進捗および計画について

当社では、全てのN700系（80編成）に対し、N700Aに採用する機能の一部（中央締結ブレーキディスク、定速走行装置）を反映する改造を浜松工場で行うこととしております。

このたび、3年間の具体的な改造計画が決定いたしましたのでお知らせします。

N700Aの投入およびN700系の改造により、さらに安全性・安定性が増したN700Aタイプの車両が平成27年度末には全体の約8割となります。

1. N700系の改造計画

	編成数
25年度	32編成
26年度	37編成
27年度	11編成
計	80編成

※ 初めて改造が完了する編成（第1編成）は、5月中旬に運用開始

※ 年度毎の改造編成数は、現時点の全般検査計画に基づく

2. ロゴ等

・改造した車両には、新しいロゴを貼り付けます。（別紙）

※改造によりN700Aに採用した技術の一部を取り入れ、N700Aタイプになることから、現行ロゴに「A」の文字を追加します。

・改造後のN700系の呼び方は、「N700系」のままで変更はありません。

※仕様の違いは（参考）資料を参照。

3. 参考

・全てのN700系（80編成）を230億円（概算）かけて改造することは既発表。

（平成24年4月23日発表）

改造後のN700系ロゴ

別紙



※参考

N700系



N700A



仕様の違いについて

参考

	機能	N700系		N700A
		現行	改造後	
				
安全性	中央締結ブレーキディスク	—	○	○
	地震ブレーキ	—	○	○
安定性	定速走行装置	—	○	○
	台車振動検知システム	—	—	○
快適性	車体傾斜区間増（乗り心地向上）	—	○	○
省エネ	消費電力量削減（対700系△19%）	○	○	○
	トイレ、洗面所の調光機能	—	—	○
室内設備	腰掛	—	—	モケットデザイン 変更
	緊急通報装置（デッキ部）	—	—	○
	ドア開閉表示灯（デッキ部）	—	—	○